

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

|             |                     |      |  |
|-------------|---------------------|------|--|
| 団 体 名       | 公益財団法人しまね文化振興財団     |      |  |
| 施 設 名       | 島根県芸術文化センター いわみ芸術劇場 |      |  |
| 助成対象活動名     | 公演事業・人材養成事業・普及啓発事業  |      |  |
| 内定額(総額)     | 11,513              | (千円) |  |
| 公 演 事 業     | 6,702               | (千円) |  |
| 人 材 養 成 事 業 | 2,014               | (千円) |  |
| 普 及 啓 発 事 業 | 2,797               | (千円) |  |

(2) 平成30年度実施事業一覧

| 【公演事業】         |  |                  |  |          |       |
|----------------|--|------------------|--|----------|-------|
| 番号             | 事業名  | 主な実施日程           | 概要<br>(演目、主な出演者、スタッフ等)                                 | 入場者・参加者数 |       |
|                |  | 主な実施会場           |  | 目標値      | 実績値   |
| 1              | 島根・山口連携プロジェクト<br>ストラディヴァリウス<br>サミットコンサート2018 | 平成30年6月3日        | 出演者：ベルリンフィルハーモニック・ストラディヴァリ・ソロイスト メンバー13名               | 目標値      | 800   |
|                |  | いわみ芸術劇場<br>大ホール  |  | 実績値      | 825   |
| 2              | 太鼓祭り～石見の光                                    | 平成31年3月10日       | 出演者：今福座、ゲストアーティスト（柳井勇、河合宥季）、地元太鼓チーム6団体                 | 目標値      | 700   |
|                |  | いわみ芸術劇場<br>大ホール  |  | 実績値      | 775   |
| 3              | アジア友好の海交流プロジェクト<br>グラントワ・カンタート2019           | 平成31年1月11日～1月13日 | 出演者：全国公募によるアマチュア合唱団述べ36団体、海外ゲスト合唱団2団体（韓国・ソウル、中国・寧波市より） | 目標値      | 1,300 |
|                |  | いわみ芸術劇場<br>大ホール他 |  | 実績値      | 2,545 |
|                |  |                  |  | 目標値      |       |
|                |  |                  |  | 実績値      |       |
|                |  |                  |  | 目標値      |       |
|                |  |                  |  | 実績値      |       |
|                |  |                  |  | 目標値      |       |
|                |  |                  |  | 実績値      |       |
|                |  |                  |  | 目標値      |       |
|                |  |                  |  | 実績値      |       |
|                |  |                  |  | 目標値      |       |
|                |  |                  |  | 実績値      |       |
|                |  |                  |  | 目標値      |       |
|                |  |                  |  | 実績値      |       |
| 平成30年度の目標値、実績値 |  |                  |  | 目標値      | 2,800 |
|                |  |                  |  | 実績値      | 4,145 |

(2) 平成30年度実施事業一覧

| 【人材養成事業】       |                     |                      |  |          |       |
|----------------|---------------------|----------------------|--|----------|-------|
| 番号             | 事業名                 | 主な実施日程               | 概要<br>(演目、主な出演者、スタッフ等)                         | 入場者・参加者数 |       |
|                |                     | 主な実施会場               |  | 目標値      | 実績値   |
| 1              | いわみ舞台塾              | 通年                   | 邦楽：川村葵山/演劇：太宰久夫・大塚恵美子/太鼓：今福座/キッズ合唱：前田美子 他      | 目標値      | 1,400 |
|                |                     | いわみ芸術劇場及び地域施設 他      |  | 実績値      | 1,360 |
| 2              | 舞台を支える人材育成塾         | 11月11日、20日、21日、3月11日 | スタッフスクール：いわみ芸術劇場舞台技術振興課職員/接遇：星乃もと子/劇場：栗山文昭     | 目標値      | 120   |
|                |                     | いわみ芸術劇場小ホール講義室       |  | 実績値      | 45    |
| 3              | 鑑賞者育成講座 グラントワアートサロン | 6月、11月、12月、1月全4回     | バレエ：岩永智博/童謡：周東美材、ゲスト：南波美穂/合唱：栗山文昭/舞台：太宰久夫      | 目標値      | 200   |
|                |                     | いわみ芸術劇場講義室多目的ギャラリー   |  | 実績値      | 129   |
| 4              | 益田系操り人形後継者総合養成事業    | 12月～3月 全9回           | 人形操作：飯室廉一/義太夫：竹本越孝/三味線：鶴澤駒治/コーディネーター：現代人形劇センター | 目標値      | 120   |
|                |                     | 益田市市民学習センター          |  | 実績値      | 67    |
|                |                     |                      |  | 目標値      |       |
|                |                     |                      |  | 実績値      |       |
|                |                     |                      |  | 目標値      |       |
|                |                     |                      |  | 実績値      |       |
|                |                     |                      |  | 目標値      |       |
|                |                     |                      |  | 実績値      |       |
|                |                     |                      |  | 目標値      |       |
|                |                     |                      |  | 実績値      |       |
|                |                     |                      |  | 目標値      |       |
|                |                     |                      |  | 実績値      |       |
|                |                     |                      |  | 目標値      |       |
|                |                     |                      |  | 実績値      |       |
| 平成30年度の目標値、実績値 |                     |                      |  | 目標値      | 1,840 |
|                |                     |                      |  | 実績値      | 1,601 |

(2) 平成30年度実施事業一覧

| 【普及啓発事業】       |                           |                      |  |          |       |
|----------------|---------------------------|----------------------|--|----------|-------|
| 番号             | 事業名                       | 主な実施日程               | 概要<br>(演目、主な出演者、スタッフ等)                                   | 入場者・参加者数 |       |
|                |                           | 主な実施会場               |  | 目標値      | 実績値   |
| 1              | いつでもどこでも音楽祭               | 通年                   | 出演：林千夏（チェロ）、木村恵理（ファゴット）/グラントワ合唱団/栗山綾子（フルート）、中澤圭奈（ピアノ）他   | 目標値      | 540   |
|                |                           | グラントワ美術館ロビー<br>他     |  | 実績値      | 745   |
| 2              | 益田糸操り人形公演                 | 6月～12月 全9回           | 出演：益田糸操り人形保持者会   | 目標値      | 500   |
|                |                           | いわみ芸術劇場<br>小ホール他     |  | 実績値      | 759   |
| 3              | グラントワ芸術家の派遣<br>事業（アウトリーチ） | 7月、8月、11月、12月、3月 全5回 | 出演：益田糸操り人形保持者会/山本光洋（パントマイム）/米山麻美（オルガン）、南波美穂（ソプラノ）他       | 目標値      | 300   |
|                |                           | 地域施設                 |  | 実績値      | 311   |
| 4              | 島根邦楽集団第13回定期<br>演奏会       | 平成30年11月24日（土）       | 出演者：島根邦楽集団、田村拓男（指揮）、川村泰山（尺八）、川村葵山（尺八）、ジュニア邦楽塾塾生/ゲスト：鈴木福  | 目標値      | 700   |
|                |                           | いわみ芸術劇場<br>大ホール      |  | 実績値      | 660   |
| 5              | グラントワ弦楽合奏団第<br>8回定期演奏会    | 平成31年3月17日（土）        | 出演：グラントワ弦楽合奏団<br>指揮：加藤幹雄/ゲスト：東京アーティストツ合奏団、Mizuho Strings | 目標値      | 350   |
|                |                           | いわみ芸術劇場<br>小ホール      |  | 実績値      | 389   |
|                |                           |                      |  | 目標値      |       |
|                |                           |                      |  | 実績値      |       |
|                |                           |                      |  | 目標値      |       |
|                |                           |                      |  | 実績値      |       |
|                |                           |                      |  | 目標値      |       |
|                |                           |                      |  | 実績値      |       |
|                |                           |                      |  | 目標値      |       |
|                |                           |                      |  | 実績値      |       |
|                |                           |                      |  | 目標値      |       |
|                |                           |                      |  | 実績値      |       |
| 平成30年度の目標値、実績値 |                           |                      |  | 目標値      | 2,390 |
|                |                           |                      |  | 実績値      | 2,864 |

## 【妥当性】

### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

人口減少と少子高齢化が深刻な島根県西部地域において、地域と文化の「触媒」になることと、新たな文化をはぐくむ「舞台」になることが当劇場の社会的役割といえる。その役割を果たし、波及効果を生み出すため、劇場が継続的に取り組んできた合唱、邦楽、弦楽、また、伝統芸能が盛んな地域性を活かした和太鼓、糸操り人形の分野に注力し、単発の講座を除いた全ての事業が公演・人材養成・普及啓発の各枠組を超えて横断的に展開する組み立てとした。

加えて公演事業においては質の高い公演内容や魅力的な企画によって県内外からの誘客を図り、人材養成・普及啓発事業においては劇場外にも広域に展開し、交流人口の拡大や文化的接触機会の格差是正、各地の活動支援と劇場との相互発展を目指した。県内外の文化施設や教育機関等と協働することで、事業効果と予算効率を高めながら当初計画に沿って事業を実施し、各指標を達成した。（交付申請時点の総事業予算に対する決算実績額88%）



ホールや美術館事業、各種イベント開催等地域の芸術文化拠点として大きな役割を持つ



伝統芸能が盛んな地域性を活かした「太鼓祭り～石見の光～」

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

劇場が位置する益田市の観光入込客数約92万人の4割以上が当施設来館者であり、数々の建築賞を受賞し美術館を併設する当施設は、観光・地域振興への期待を集めており、「グラントワ・カンタート」を一例にとっても、劇場事業の地域経済への効果は大きい。

また、社会的・文化的意義の一例としては、フランチャイズ団体「グラントワ・ユース・コール（小中学生の合唱団）」の出身者が大学で専門的に声楽を学んだのち、都市部での就職後Uターンし、団の指導者として後進の育成に取り組むケースがあり、他団体でも所属団員が子供向けの体験型事業で講師補佐を務める等の活動が多く見られる。

「地方でも文化的な生活を送りたい、文化芸術に親しみたい、活動したい」という地域のニーズが継続型劇場事業によって叶えられ、縦・横の世代が繋がっていくことにより文化活動が循環し、一人一人の生活の充実や幸福感の向上に繋がっている。



地元産の瓦を使用した特長的な外観を持ち観光拠点の側面もある芸術文化センター



地域の病院で慰問演奏を行うグラントワ・ユース・コール

## 【有効性】

### 自己評価

目標を達成したか。

人口減少と少子高齢化が著しく、都市部との交通の便が悪いという大きな課題を抱える石見地域に位置する当劇場は、文化拠点および観光拠点施設という役割を鑑み、劇場での質の高い事業の提供と、周辺地域への事業展開と文化活動支援を目標としている。年度の事業実績として、入場者・参加者数の共通の目標値総計7,030名に対し、8,510名（121%）を達成。また、公演事業における観客の満足度達成率は89.5%（指標：85%以上）、人材養成事業において参加者による活動継続の意欲度75%（指標：「次も参加する」と回答する人の割合が50%以上）、普及啓発事業における「地域に偏りなく実施する（鑑賞・体験機会が年5回以下の地域で2カ所、過去2年以上開催していない福祉施設1カ所）」も達成するなど、それぞれの事業における主要な目標数値を超える成果を上げた。

また、小学生から80代まで幅広い参加がある全国規模の合唱イベント「グラントワ・カンタート」の開催（目標値1,300名／実績2,545名【達成率196%】）、島根県無形民俗文化財「益田糸操り人形」総合養成講座での講師派遣による演目の掘り起し及び、指導を受けた2演目の上演披露、複数ジャンルの人材育成や体験機会を提供する「いわみ舞台塾」での地域指導者育成、市町ホール等と連携した体験講座の開催等を通じて石見地域全域の文化振興に大きく貢献できた。

その他、「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート」では、広島からの鑑賞バスツアーが満席になり、県外来場率17%を記録。「グラントワ・カンタート」では、第1回より萩・石見空港利用促進協議会と連携し、関東から参加する合唱団に運賃助成を行っており、3年間で計850席の利用があり（助成制度に当てはまる合唱団員だけで3年の開催で5便以上満席にした計算）、交流人口の拡大にも一定の成果を上げたと言える。



鑑賞機会の少ない地域で  
出前公演を行う「益田糸操り人形」



県外からも多数の来場者を迎えた  
「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート」

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

事業期間は、公演準備と後処理、フランチャイズ団体の事前練習等を除く純粋な事業実施日で換算しておよそ11ヵ月間となり、ほぼ通年で多岐にわたる事業を実施した（平成30年5月13日から平成31年3月31日まで）。公演事業や普及啓発事業の半数の公演については、前年度にほぼ調整を行っていたが、人材養成事業や劇場外での事業については、関わる講師陣や団体など、相互に関係する事業も多く、また、劇場外の事業については、実施件数と開催エリアの偏りを防ぐため、全ての事業日程を調整するまで時間を要している。結果的に年度後半に事業が偏り、計画通りとならなかった面もある。しかし、年度後半の大規模事業「グラントワ・カンタート」のように、公演という頂点に向けて大きな波及効果を引き出すために、年度中盤に関連する人材養成事業などを配置していくことは当初から計画しており、同事業においては、「いわみ合唱塾ネクスト・クワイア」や「鑑賞者育成講座グラントワ・アートサロン」などの関連事業が大きく機能し、本体事業である「グラントワ・カンタート2019」の目標値1,300名を大きく上回る2,545名の来場者へと繋げることができた。

収支については、①公演事業：-7.1%/②人材養成事業：-16.1%/③普及啓発事業：-19.5%となり、全体として決算額が交付申請時の予算額を下回った。これは、横断的な事業展開を活かして、来県するアーティストや講師に、講座やアウトリーチ等他事業を併せて開催するなどの工夫を行ったことや、連携体制を構築する地域の関係団体やボランティア組織の活発な各事業への参画と運営・広報協力等により、効率的な事業費執行ができた結果と考える。



ホール公演など、他事業との  
連動性が高い「いわみ舞台塾」



広報物の発送作業に取り組む  
グラントワボランティア会

## 【創造性】

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

劇場が継続して重点的に取り組んできた合唱、邦楽、弦楽、伝統芸能を中心に、事業の枠組みを超えて連動し成果を上げた。公演事業を中心に説明すると、「ストラディヴァリウス サミットコンサート」では、山口市文化振興財団との連携に加え、フランチャイズ団体「グラントワ弦楽合奏団」が様々な形で事業に参加した。団体所属の地元演奏家たちがサミットコンサート出演者のベルリンフィルメンバーからの演奏クリニックを受けた他、関連事業として実施したプレコンサートへ出演するなど、地元演奏家のスキルアップと一流アーティストとの交流の場の提供及び当該ジャンルの理解促進としての取り組みを実施。「太鼓祭り～石見の光～」においては、地元アーティストの公演に併せて地元太鼓6団体の出演や、周辺地域での事前の和太鼓体験事業（いわみ舞台塾）を展開した。

当年度最大規模の事業である合唱イベント「グラントワ・カンタート」は、平成28年度から3年連続で開催。地元益田市出身で、国内屈指の合唱指揮者である劇場芸術監督の栗山文昭氏が総合プロデューサーを務め、中国・韓国からの2団体を含めた26団体の合唱団が参加し、レクチャーやコンクール、コンサート、交流会等に参加。合唱を通じた文化交流の場としても全国から高い評価を受けた。また、同事業は当劇場の設置者である島根県や地域住民の切願である交流人口の拡大や地域の魅力発信にも大きく寄与した。3日間の参加者合計は延べ2,545名にのぼり、周辺部に大きな経済効果を創出している。作曲家の寺嶋陸也氏、信長貴富氏に毎年委嘱している合唱曲はこれまでに6曲を制作。うち3曲はすでに大手出版社より出版され、グラントワ・カンタートの名前とともに全国に広がり、多くの合唱団に歌われている。

こうした成果や広がりや、先述の横断的な事業で得られた多くの市民や教育関係者、地元実演家、施設ボランティア、行政機関等の劇場への関わりによって実現しており、劇場が文化芸術プラットフォームとしての機能を最大限発揮した結果と考える。



延べ2,545名が参加した合唱イベント



ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーからクリニックを受ける



## 【創造性】

### 自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

各事業は、地域の実演活動への投資となる要素を多分に組み込んでおり、実際に発展的な成果をあげている。代表例としては、先述のフランチャイズ団体「グラントワ弦楽合奏団」が、公演事業のプライベートに出演しPRに貢献しただけでなく、団員が同コンサートの出演者から技術指導を受け、劇場が行う鑑賞アウトリーチの出演者・講師として地域の小学校で演奏デビューを果たした。同団体は劇場と協働して開催する定期演奏会でも高い演奏力を披露しており、劇場の内外で新たな鑑賞者を生み出し続けている。

また、グラントワ・カンタートに関連する意義深い取組みが、いわみ合唱塾ティーンズ・プロジェクト「ネクスト・クワイア」である。人口減少と少子高齢化によって当地では合唱部のある学校が減っており、益田市内の中学校で合唱部は1校もない状況の中、「歌いたくても合唱部がない」という中学生の切実な願いを受けて、県西部地域の音楽教員と劇場が連携し、学校の垣根を越えた合唱団「ネクスト・クワイア」を立ち上げた。音楽教員やプロの講師から合唱指導を受け、合宿を行った後グラントワ・カンタートで成果を発表するという4ヵ月にわたる充実のプログラムで、その取り組みは、雑誌「音楽教育（中学・高校版）」にて“合唱の未来像”として大きく取り上げられるなど、大きな反響と感動を呼んだ。音楽教員と劇場が手を携え、中高校生に地域の中で歌う場を提供する、という新しいモデルケースを提示できたという点で非常に意義深く、また、参加した若者たちの地域文化活動への理解、次代の担い手への成長が期待される。

この他、「益田糸操り人形」は、人材養成事業によって新たな演目が掘り起こされ、劇場や地域での公演で鑑賞者に還元されるなど、多くの事業が直接的に地域の実演芸術の振興に繋がっている。



劇場と地域の音楽教員の連携によって  
生まれた「ネクスト・クワイア」



人材養成事業によって演目の掘り起こしが  
行われている「益田糸操り人形」

## 【持続性】

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

当該助成金を活用した事業は、劇場が直接的に行う文化事業の総事業費の42%にあたり（平成30年度実績報告ベースとして）、継続事業も多く劇場の中心的事業を形成していることから、劇場および関係団体・個人の持続的な活動発展に大きく影響している。

当年度の事業計画（Plan）は、前年度各事業実施後の段階から劇場の芸術監督と協議を始め、各分野のアドバイザー、フランチャイズ団体、県内の各公立文化施設やその協議会（県公文）、文化芸術・教育・観光等の団体への意見聴取や情報交換、その他県外視察等により策定後、実績を考慮し最終調整を行った後、財団理事会にて決定を行う。実施（Do）にあたっては、劇場が有するボランティア組織やフランチャイズ団体、地元実演家、周辺の文化施設・行政・教育機関等と協働しながら、劇場を中心に効率的に事業実施を行うとともに、県東部にて同じ財団が管理運営を行っている島根県民会館や県公文加盟施設との協力体制が広域の事業展開を支えている。各事業実施後に来場者アンケートの集計と分析、関係者ヒアリングや反省会を行い、実績値と合わせて事業効果の検証（Check）を行う。この検証と翌年度に向けた改善（Action）は、実質的に計画（Plan）に直結している。検証や改善について対象となるのは、県民満足度やニーズ把握、社会的・文化的意義の有無や波及効果の大きさ、事業エリアや分野のバランス、今後の発展性と事業継続の意思決定、といった項目となる。

現在財団の経営状態は安定的に推移しており、劇場事業の基盤となる行政・地元団体との協力関係も良好である。今後、県内文化施設やネットワーク強化事業などでも実績を作っている県外劇場や全国組織との連携や交流、研修等による専門職員の育成等を推進することで劇場機能を強化し、財団運用財産や外部資金の有効活用により、事業分野と内容、展開エリアの充実に繋げたい。